学校番号	３０１８

令和８年度　総合造形科

教科	総合造形	科目	造形演習Ｆ	単位数	２単位	年次	３年次
使用教科書	なし						
副教材等	なし						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

造形に対する深い専門性と、多様な表現に対応できる能力を高めるとともに、自己実現のための実技力（主に素描、人物デッサン、石膏デッサン、卓上デッサン）などの向上をめざす。

2　学習の到達目標

【知識及び技能】
モチーフ(石膏、人物、卓上)をしっかり観察し、それを的確に明暗の調子だけで表現する。テーマに応じ、イメージを膨らませ表現できる。

【思考力、判断力、表現力等】
多様なモチーフ(石膏、人物、卓上)を経験して、陰影や表情をしっかり表現できる。テーマに合わせた構想が生まれ、表現につなげられる。

【学びに向かう力、人間性等】
これまで培った基礎基本を積極的・主体的に活用し、創造活動に生かすような態度を育てる。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	対象や事象を捉える造形的な視点について理解を深めている。 質感まで迫る描写力を目指し、空間を意識して表現できる力を身につける。	造形的な美しさ、表現の意図について考え、主題を生成し創造的に発想し構想を練り、価値意識をもって美術や美術文化に対する見方や感じ方を深めている。 モチーフより、構成、色調、質感等の造形要素を考え創意工夫することを、描写力とつなげていく。	描写に関する基礎基本を主体的に身につけ、創造活動に取り組もうとしている。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1	素描1	静物デッサン ・卓上モチーフの鉛筆デッサン	a: 基礎形体の造形要素の働きを理解している。 b: デッサンの表現形式の特性を生かし、明暗・構成についての構想を練っている。 c: 主体的にデッサンの創造活動に取り組もうとしている。	プリント 作品	スケッチ 作品	作品 授業観察 総合評価
	素描2	静物デッサン ・卓上モチーフの鉛筆デッサン(3 点モチーフ) ・難関私大デッサン模試対応デッサン ・相互鑑賞	a:モチーフを観察し、思考を重ね工夫をしている。 b:モチーフを観察し、質感や素材感も写実的にとらえ、空間も含め正確かつ造形的に美しく表現している。 c:主体的に取り組み、静物を描く意図に応じて創意工夫し、創造活動に取り組もうとしている。	プリント 作品	スケッチ 作品	作品 授業観察 総合評価 鑑賞レポート
2	人物デッサン	・人物デッサン ・着衣モデルの鉛筆デッサン ・着衣モデルの着彩デッサン	a: 造形要素を理解している。 b: デッサンの表現形式の特性を生かし、特に構成については空間も意識し、構想を練っている。 c: 主体的にデッサンの創造活動に取り組もうとしている。	プリント 作品	スケッチ 作品	作品 授業観察 総合評価
	石膏デッサン	・石膏デッサン ①　鉛筆で描く ②　木炭で描く	a:形や光、材質、基礎造形的な視点をもって基礎形体の造形要素の働きを理解している。 B：デッサンの表現形式の特性を生かし、明暗・構成についての構想を練っている。 c:モチーフ・素材の特性を生かし、主体的にデッサンの創造活動に取り組もうとしている。	プリント 作品	スケッチ 作品	作品 授業観察 総合評価
3	イメージ構造	・言葉のイメージからの構想デッサン	a:主題について理解し、表現の意図を的確に展開できている。 b:創造的に発想をすすめ、描写を工夫し表現につなげている。 c:主体的に取り組み、イメージ表現の意図に応じて創意工夫し、創造活動に取り組もうとしている。	プリント スケッチ 作品	スケッチ 作品	作品 授業観察 総合評価 鑑賞レポート

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度